

平成23年度

長浜北星高等学校（全日制） 学校評価

本年度の重点目標

- ・本校の新教育課程の具体的運用に向けた準備を進める。
- ・対外的な情報発信力を向上させ、本校の特色・独自性を伝える。
- ・生徒の能力の更なる向上を図るため、指導方法の工夫と改善を行う。

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	学校の様子を保護者に説明するなど、学校説明に積極的に取り組んでいる。	A		
	総合学科への期待やニーズにあった教育活動を展開している。	A		
2 学習指導	日常の授業や補習等を通じて基礎的・基本的な学力を身につけさせている。	A		
	教科の学習を大切にし、熱心に授業を行っている。	A		
3 生徒指導	遅刻・服装・頭髪・挨拶などの生活指導を行い、基本的な生活習慣の確立に努めている。	A		
	生徒指導にあたって、家庭との連携を密に行っている。	B		
4 進路指導	生徒個々の進路希望に応じた進路情報の提供を行っている。	A		
	進路指導にあたって、家庭との連絡を密に行っている。	A		
5 特別活動等	部活動や生徒会活動などの課外活動を活発に行っている。	A		
	学校行事が魅力あるものとなるように工夫改善がなされている。	B		
6 学校図書館	生徒に読書を奨励している。	B		
	図書館を教科・科目や総合的な学習の時間、特別活動などに活用している。	C		
7 保健・安全指導	カウンセリングに熱心に取り組んでいる。	B		
	保健室に救急薬品が整備され、応急処置が施せる体制ができている。	A		
8 人権教育	人権尊重に関して計画的な指導を行っている。	A		
	生徒が明るく生き生きとした学校生活を送っている。	A		
9 環境教育	省エネやごみの分別収集など積極的に環境教育に取り組んでいる。	A		
	生徒が自主的に地域の美化に取り組んでいる。	A		
10 事務・管理	電話や来校者に対し丁寧に対応している。	A		
	予算執行の手続きが教職員に周知され、適正に執行されている。	A		
11 その他 学校の取り組み	総合学科の特色をよく出している。	A		
	「学校要覧」「学校案内」は、分かり易く、長浜北星高校の魅力を伝えている。	A		

- (注) ・評価表の見方： 6月 学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
 10月 中間評価(自己評価)の公表(8月までの教育活動に対する中間評価) A B C Dの4段階評価で示す。
 3月 総合評価(自己評価・学校関係者評価)の公表(年間の教育活動に対する総合評価) A B C Dの4段階で示す。
 ・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
 ・A B C Dの基準は、肯定的な評価が75%以上をA、50%以上75%までをB、25%以上50%までをC、25%未満をDとする。

学校のURL : <http://www.hokusei-h.shiga-ec.ed.jp/>